



－研修会での学びを積極的に活用しましょう・伝講しましょう－

「第1回外国語教育研修会」

6月8日(木)に小・中学校教員を対象に「小・中連携で創る意欲とスキルが高まり合う英語の授業」について研修会を行いました。講師は聖学院大学教授 東仁美先生でした。

講義の内容は「学習指導要領に見る小・中連携」「教科書での小・中連携」「言語活動の充実」「中間指導」についてでした。学習指導要領のポイントや小学校段階と中学校段階での指導の違い、外国語活動と外国語科での言語活動を豊かにするための中間指導(評価)について、具体の事例を挙げながらテンポよく講話いただき、外国語教育への熱い思いと「小・中の連携・協働」の大切さに改めて気付かされる機会となりました。

事後の感想には「自分の担当する生徒が、どのような環境で外国語を学習してきたのかを知ったうえで授業をしなければならないと思った」「中学校の先生が抱える課題を念頭におきながら指導していきたい」「職員会議等で共有したい」などがありました。



「第1回幼・中堅教諭等スキルアップ研修会」

6月8日(木)に幼稚園教員を対象に「中堅教諭等スキルアップ研修会」を行いました。築館幼稚園長の武田由美先生から「園長が期待する中堅教員」についての講話の後、菊地・高橋両特任教授が見守る中「自分の保育を振り返る」ワークショップを行いました。

働きやすくやりがいをもつ職場環境づくりや主体性が発揮される職場について事例を挙げながら講話いただいたり、『やる気のスイッチを探る』の課題について考えてきたことを語り合ったりしたことで、中堅教員としての意識を高めることができましたようです。

事後の感想には「命を預かっていることを忘れず、責任感をもって努めていきます。園経営にも積極的に参加し、難しいことにもどんどん挑戦し、職場の一員としての役割を果たしていきたい」「中堅教員として、大切にしてほしい事や意識していく事など、具体的に教えていただき、とても参考になりました」などがありました。



「第2回幼稚園・学校補助員研修会」

6月19日（月）に幼稚園補助員を対象に「気になる子供たちへの対応の仕方」について研修会を行いました。講師は、金成支援学校の支援部長である田崎奈美先生でした。

講義の内容は、第1回小・中学校補助員研修会と同様でしたが、幼稚園児の具体の事例を基に①応用行動分析の手法について、②困った行動をしてしまう4つの理由は、行動の背景にある理由を知ることが適切な対応のヒントになることについて、③肯定的な注目、否定的な注目について、日頃の支援を振り返る場を取り入れながら説明いただきました。

事後の感想には「今回の内容のことが多々あるので、言葉のかけ方、行動の促し方など改めて確認すると共に、きちんと自分自身を見直し子供たちに寄り添い対応していこうと思えました」「個人の良いところを認め、ほめることを大事にしていきたいと思えます」「具体的なケースを取り上げて対応を教えてもらえたので良かった」などがありました。



「第1回幼稚園新任教諭・保育士研修会」

6月27日（火）に幼稚園新任教諭・保育士を対象に「読み聞かせの大切さと読み聞かせの方法・絵本の選び方」という演題で研修会を行いました。講師は、元福音館書店編集長 勝尾栄先生でした。

講演の内容は「絵本とは何か」「なぜ絵本を読むのか」「よい絵本について」などでした。

たくさんの絵本を紹介しながら解説いただいたり、読み聞かせをしていただいたりしたことで、聞く人の気持ちに寄り添いながら絵本を読み聞かせる大切さや生涯の読書習慣につながるなどについて理解を深める場になりました。その後のワークショップも、菊地・高橋両特任教授が見守る中、持参した本の読み聞かせや日頃の悩みを解決しようと熱心に話し合う様子が見られ読み聞かせの大切さを実感し保育への意欲付けになりました。

事後の感想には「絵本を選ぶ際、子供の反応を想像しながら文字を読んで選ぶことが多かったのですが、今後は絵を見て物語をイメージすることを大切にしたい」「読み聞かせが子供たちとの信頼関係づくりにつながることを知り、読み聞かせの時間を自身も楽しみながら取り組めるようにしていきたい」「自分が悩んでいることを話すことで、同じ悩みに気付いたりどう対応したりしているのかを聞いて勉強になった」などがありました。

